

ミニハウスを 可児市に贈る

岐阜信金100周年記念
岐阜信用金庫は創立100周年を記念し、可児支店(可児市広見)がある同市に滑り台付きミニハウスを

寄贈した。

同金庫は店舗のある岐阜、愛知両県の27市町に順次、物品を寄贈している。可児市では、子育て世代に親しんでもらおうと木製のミニハウスを贈り、同市下恵土の市子育て健康プラザマーン内の絆(きつずな)ルームに設置された。

同金庫の石神靖也常務理事から、富田成輝市長に目録が手渡された。石神常務理事は「可児市の子どもたちに末永く遊んでもらいたい」とあいさつし、富田市長は「絆ルームを利用する子どもたちに喜んでもらえると思う」を感謝した。

(小森孝美)



目録を手にする富田成輝市長(左)と石神靖也常務理事。可児市下恵土、市子育て健康プラザマーン)